

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスノーサイド		公表日		2025年 4月 28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	6	成長に伴い、バギーの大きさや体の大きさにスペースを確保することが難しい場合もあるが時間や活動によって工夫しています。	バギーの台数も多いため、一人一人のスペースを確保しながら安全面に考慮し配置の工夫を行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	6	声かけを活発に行いスタッフ間で協力し安全に過ごせるようにしています。	男性スタッフが少ない為、段取りよく職員間で協力していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		トイレの手すりや車椅子用のリフト等バリアフリーに配慮しています。LINEなどを使い情報伝達しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		清潔にしています。	引き続き、日々の掃除を徹底し、さらに感染予防に努めます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		必要に応じて気分転換で外出したり、個別の部屋に移動したり対応しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	4		PDCAサイクルの取り組みが不十分なため、常勤職員に限らず、全体会議を行い広く参画出来るよう取り組んでいます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	保護者からのご意見を周知し、改善につなげています。	今後も面談や送迎時等のご意見を職員間で共有できるように体制を整えていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	5	定期的に職員会議を開催し、意見交換を行っています。また個別に意見等を把握し、問題解決や改善に繋がっています。	個別の聞き取りや全体ミーティング等で話し合いができるように検討していきます。業務量は増えている為協力体制作りが必要と考えています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3	第三評価は受けていません。	業務改善については行っておりますが、外部評価に関しての業務改善につきましては今後検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	3		職員の質の向上を行うため、外部研修を受ける制度を活用しています。コロナ禍で中々研修の機会が少なくなっているが、職員のニーズの把握と研修の情報収集及び提供を行っています。	
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	3		ホームページにて公表いたします。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		日々の支援状況を確認し子どもの様子、保護者、相談支援員等の情報なども含めニーズや課題を分析した上で作成しています。	今後も保護者との面談を通してアセスメントを行い、常に児童及び保護者様の立場に立つて支援計画を作成してまいります。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		日々関わりのある職員から情報収集し、ニーズや課題を検討したうえで作成しております。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	3	個人ファイル等は全体的に閲覧できるようにしています。LINE等で情報共有されていることも多いです。	計画に沿った支援が出来ているところもあるが十分でないところもある為、共有して支援できるように取り組んでいます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2		標準化されたツールは使用していないが本人の状況や保護者、相談員、他事業所からの情報で確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	職員間で協議して立案しています。	今後より一層、日々支援を行っている職員も交えて活動プログラムを立案していきます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1		固定化しないよう様々なプログラムを検討し取り入れていくようにします。	

提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		日々、支援前にスタッフで集まり支援担当を決めたり、情報共有を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	3	支援終了後に出来る時は行っています。また、日誌にその日にあった出来事や注意する点、気づきを記入し、職員がいつでも見れる環境にしています。	細かい情報を共有できるようにより良い方法を考えてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1	定期的なモニタリング以外に、送迎時や電話で話をする際に保護者より情報をお聞きしています。	誰がみても、見直した部分などが理解できるような形の構築をしていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6	2	生活能力向上・社会参加・創作活動・運動という面で、イベントに参加し、創作活動への参加や、社会参加できる場面等を増やしたりしています。	スタッフの中で、4つの基本活動と言う面の認識が出来ていないように感じます。改めて周知し支援できるようにして行きます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	8		一人一人にあわせた声掛けなどを行っている。日常生活の中で、制作中の色を選ぶ事や、パーツを選ぶ等、選択する場面を作っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	管理者や担当者を決め、よく理解した者が参加をしています。	常勤社員だけではなく、より多くのスタッフが関わって行けるようにして行きます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	病院への同行や、各種機関と連携を取り、情報を集めるようにしています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		何かあればすぐに社員へ報告するような体制を取っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1	引継ぎに関しては、早めに事業所とのやり取りを行い、壁を少しでもなくせるようにしている。	移行に関しては、管理者や児発管を中心にしているため、細かい詳細までは他のスタッフまで行き届いていない状況です。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3	センターとは必要に応じて、連絡を取り合い話す場面を設けている。	センターとは連携をしているが、全体的に今のところ研修を受ける機会を設けてはいません。また必要に応じて設けていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	2	放課後児童クラブや児童館との交流はありませんが、地域のイベントに参加したりしています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	6	（自立）支援協議会等については、管理者、担当者のみが参加し、意見交換や情報収集を行っています。	スタッフへ協議会等の周知ができていない部分があるので、周知をしていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5		ペアレント・トレーニング等は行っておりませんが、今後「ぶろっぷ会」という、保護者同士が交流し情報共有ができる場を作って行きます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1		契約時に説明を行っています。不明な点につきましてはここで対応をさせていただきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		送迎の際、スタッフからお声掛けさせて頂いています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	1	保護者会等が行っていないがイベントの際にご家族間で交流が出来るようサポートしている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		迅速に対応を心がけております。また、保護者からの声に関しては、スタッフへすぐに周知するようにしております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		毎月の通信の発行やホームページのブログ、インスタ等で発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			個人情報については鍵付き書庫に入れて、十分な配慮をおこなっています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	1		
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7	地域住民にお声掛けしていますが、参加されたことはありません。	今後は地域住民の方にも参加していただけるように考えていきます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	訓練等は定期的に行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			研修等は行っているが、色々なことを想定して、研修や訓練をおこなっていくようにします。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		月に一回安全委員会という会議を開き、各施設でのヒヤリハット報告書を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	4		虐待に対する定義などが定着していないところがあるので、スタッフ全員が理解できるように継続して研修会をおこなっていきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	2		改めて、スタッフ全員と共有を行い徹底して身体拘束について考えていきたいと思えます。